



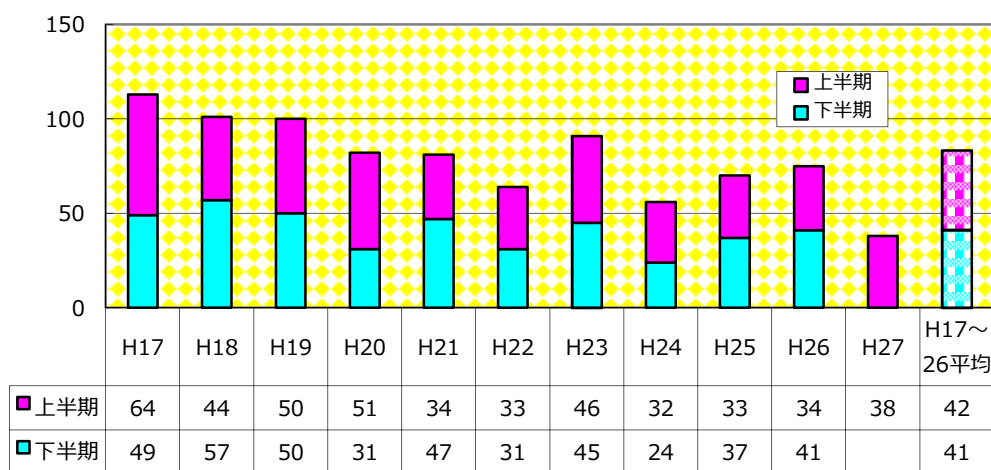
平成 27 年上半期の交通事故

○ 交通事故発生状況

区 分	平成 27 年 6 月末	増 減 数
発 生 件 数	2, 6 0 3 件	- 2 5 4 件
死 者 数	3 8 人	4 人
傷 者 数	3, 0 4 6 人	- 3 5 6 人

※ 件数と傷者数は減少、死者数は増加しています。

○ 死者の年別推移



※ 上半期の死者数は、平成 23 年を除いた平成 21 年以降、30 人台で推移しており、なかでも平成 24 年が最少となっています。

○ 死亡事故の主な特徴

	死 者 数	増減数（前年同期比）
高 齢 者	2 4 人	8 人
市 町 道	1 4 人	4 人
直 線 道 路	1 7 人	2 人
昼 間	2 3 人	4 人
歩 行 中	1 2 人	- 3 人
横 断 歩 行 中	6 人	- 5 人
自 転 車 乗 車 中	9 人	7 人
四 輪 乗 車 中	1 0 人	- 3 人
シートベルト非着用者	4 人	1 人
飲 酒 1 当 関 与	2 人	1 人

- 死亡事故の約4割が**直線道路**で発生しています。



- 死者のシートベルト対象者8人のうち、
5割（4人）がシートベルトをしておらず、
4人のうち3人の方は、シートベルトをしていれば助かったと思われます。

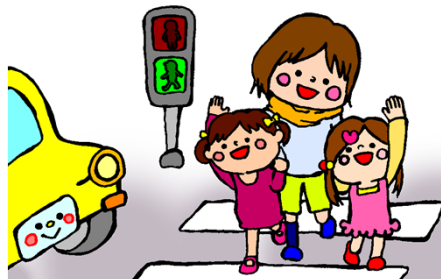
- **自転車乗車中の死者**は9人で、
頭部の損傷が主な原因で亡くなられた方は5人でした。
5人のうち、**ヘルメットを着用をしていた人はいません**でした。



- **歩行中の死者**は12人で、7人が**夜間**でした。
夜間歩行中の死者7人のうち、
反射材を着用していた人はいませんでした。



- **歩行中の死者**12人のうち、6人が**横断中**でした。
横断中の死者6人のうち、**横断歩道を横断中の人はいません**でした。



- 全死者のうち**約6割が高齢者**となっています。（高齢者構成率は全国14位）
高齢者の死者は、歩行中（12人中、10人）、自転車乗車中（9人中、7人）、
四輪乗用中（10人中、4人）、二輪運転中（6人中、2人）となっており、
歩行中と自転車乗車中の死者が多くなっています。